



Association for Cultural Typhoon
カルチュラル・スタディーズ学会



Cultural Typhoon 2021

The 'Back' Strikes Back —「裏」の逆襲—



2021 6.26 sat / 27 sun

Symposium : Theatre 21, '21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa' Individual / Group Presentations : Live Streaming
カルチュラル・タイフーン2021 〈日程〉2021年6月26日(土)、27日(日) 〈参加費〉2,000円(学生・金沢市民1,000円)

Cultural Typhoon 2021

The 'Back' Strikes Back — 「裏」の逆襲
2021 6.26sat / 27sun

Theatre 21, '21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa
シンポジウム 会場：金沢21世紀美術館シアター21

Symposium #1 6.26 sat 9:30 -11:30

スポーツとアートの汽水域

司 会: 竹崎一真(成城大学)
登壇者: 町田樹(國學院大學)
高橋洋介(角川武蔵野ミュージアム)
山本敦久(成城大学)

Symposium #2 6.26 sat 16:00 -18:00

伝統と革新 —金沢からグローバルに思考する—

司 会: 毛利嘉孝(東京芸術大学大学院教授・社会学/文化研究)
登壇者: 菊池裕子(金沢美術工芸大学教授・芸術学/工芸史)
長谷川祐子(金沢21世紀美術館館長・東京芸術大学大学院教授・キュレーター)

〈基調講演1〉
「工芸は逆襲できるか? : コロニアルな過去、現在の主体性、そして持続可能な未来」(菊池裕子)
〈基調講演2〉
「「成る」ことと「在る」ことのエコロジー: 今日における伝統の情報化とモノとしての手仕事」(長谷川祐子)
討議: 菊池裕子×長谷川祐子×毛利嘉孝

Symposium #3 6.27 sun 9:30 -11:30

裏日本」から戦後を再考する —「内灘闘争—風と砂の記憶—」展をめぐって

司 会: 小笠原博毅(神戸大学)
登壇者: 稲垣健志(金沢美術工芸大学)
高原太一(東京外国語大学)
星野太(東京大学)
水口裕子(内灘町民)
本康宏史(金沢星稜大学)
「内灘闘争—風と砂の記憶—」制作メンバー

Symposium #4 6.27 sun 15:30 -17:30

現代を徘徊する「ターナーの奴隷船」 —レイシャルキャピタリズム、あるいは'Back' Lives Matterをめぐって—

司 会: 稲垣健志(金沢美術工芸大学)
登壇者: 井谷聡子(関西大学)
小笠原博毅(神戸大学)
川端浩平(津田塾大学)

カルチュラル・タイフーン2021 〈日程〉2021年6月26日(土)、27日(日)
〈参加費〉2,000円(学生・金沢市民1,000円)

≫ シンポジウム(会場: 金沢21世紀美術館シアター21)
≫ 個人・グループ発表(ライブ配信)

主催 カルチュラル・タイフーン2021実行委員会

'BACK' STRIKES BACK

